

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 168-8686
 住 所 東京都杉並区永福3-57-14
 氏 名 サミット株式会社
 代表取締役社長 服部 哲也

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	サミット株式会社		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 多摩区中之島6-29-8		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	I	卸売業, 小売業
	中分類	58	飲食料品小売業
主たる事業 の内容	食品を主としたスーパーマーケット		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		1,667 k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		

※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計 画 期 間	2021 年度 ~ 2023 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

(1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

環境方針

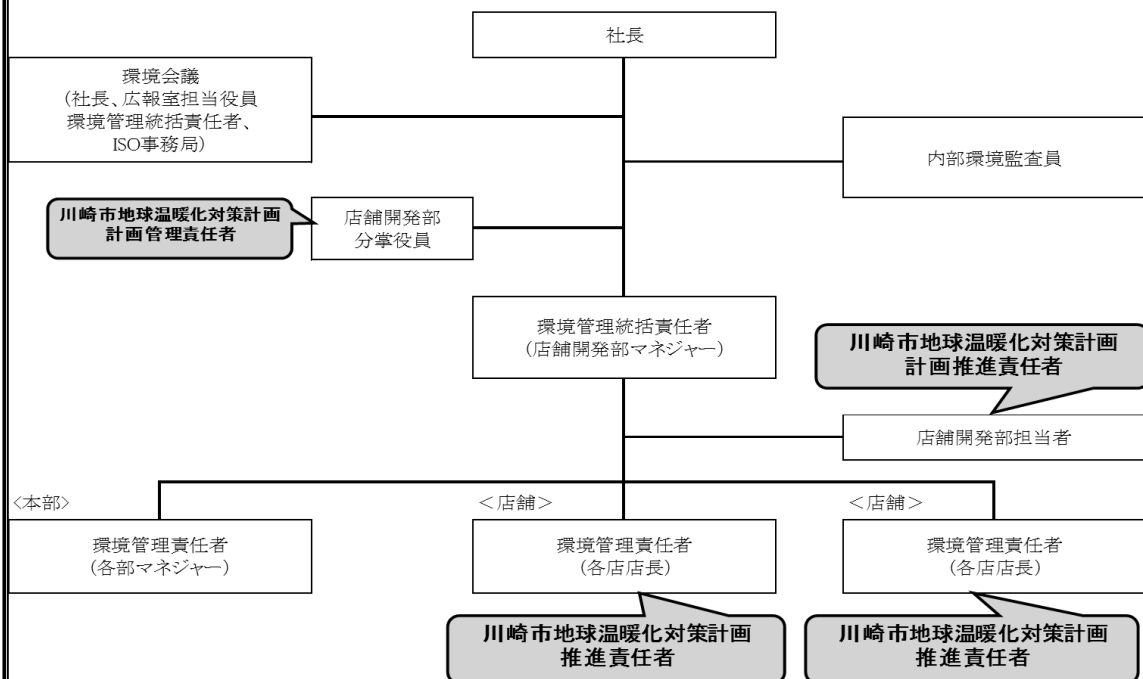
「サミットは、地域のくらしを支えるスーパーマーケットとして、お客様と共に持続可能な社会を目指し、環境への配慮を徹底します。」の下
2021年に「『GO GREEN』チャレンジ宣言」を制定し、5つの重点テーマを設定して、社会・環境の課題解決への貢献に取り組んでいる。その重点テーマの一つに「2050年までにCO2排出量実質ゼロへ」を掲げ、「より良い電力使用方法の検討」「再生可能エネルギー活用の推進」「物流効率化による環境負荷低減」を目指す。

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（PDCAサイクル）を行うための方針

- ①川崎市内の店舗と施設の排出量削減計画に基づき、省エネおよび排出量削減の目標設定を行う。
 - ②月ごとのエネルギー使用量及び実績管理を行い、四半期ごとに目標値の見直しを行う。
 - ③部内で実績を検証し、その評価の基に計画の見直しを行う。
- 以上の基本方針によりPDCAサイクルを実行管理する。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制

「GO GREEN」チャレンジ宣言における環境マネジメントシステム体制に、店舗開発部分掌役員を「地球温暖化対策計画管理責任者」として加え、対策を推進する。



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（（実）は実排出量を、（調）は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等	3号該当者等
基準	年度	2020 年度	
目標	年度	2023 年度	
基準	排出量	(実) 2,967	(実)
		(調) 2,871 t-CO ₂	(調) t-CO ₂
目標	排出量	(実) 2,878	(実)
		(調) 2,778 t-CO ₂	(調) t-CO ₂
削減量		(実) 89 t-CO ₂	(実) t-CO ₂
内訳	対策実施による削減量	(実) 89 t-CO ₂	(実) t-CO ₂
	上記以外の削減量	(実) 0 t-CO ₂	(実) t-CO ₂
削減率		(実) 3.0 %	(実) %

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等	3号該当者等
原単位等の活動量		延床面積×営業時間	
原単位の単位		m ² ・百万h	
基準年度の値		42.07	
目標年度の値		40.81	
削減率		3.0 %	

ウ 目標設定に関する説明

全社員への環境方針の浸透を徹底し、運用管理を行うが、コロナ対応による作業量増大も想定されるので目標削減率は3%とした。

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

2020～2022年度目標：既存店電気使用量 毎年前年度日%削減

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容 (別表第1から6等を参考に記載してください。)

計 画	(1) 照明設備の運用管理 (消灯管理の徹底) (2) 空調設備の運用管理 (制御温度の管理) (3) 冷凍・冷蔵設備の運用管理 (点検、フィルター清掃、ヒートリクレイマーの夜間停止) (4) デマンドメータの活用
第1年度	
第2年度	
第3年度	
計画期間における取組の評価 (第3年度の報告時に記載)	

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

(1) 照明のLEDへの更新 (2) デマンドメータの導入

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検討結果
太陽光	×	
風力	×	
バイオマス	×	
未利用エネルギー	×	
その他 ()		
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ()	
EV、PHV、FCV	×	その他 ()	

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	特になし
第1年度	
第2年度	
第3年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 川崎市リサイクルエコショップに登録 2. 廃棄物のリサイクル実施（資源の店頭回収、バックヤードで排出される廃棄物のリサイクル） 3. マイバッグ持参の推進
第1年度	
第2年度	
第3年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO₂の排出の量等の実績 (1、2号該当者等)

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO₂の排出量

(実)	2,967	t-CO ₂
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

1,667	KL
-------	----

ウ 事業所の数

4

(2) 事業所等単位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
サミットストア南加瀬店	川崎市幸区南加瀬3-40-3	1,048 t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂